号

海洋 汚染等及び海上災害の防止に関する法律施行令の一部を改正する政令

内 閣 は、 海洋汚染等及び 海上災害  $\mathcal{O}$ 防 止 に 関 す る法は 律 留昭 和 匹 十五 年 法律第百三十六号) 第三条第三号及

び 第四号並 一びに第 五 十四四 「 条 の 規定に基づき、 こ の . 政令を制定する。

海 洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律施行令 (昭和四十六年政令第二百一号)の一部を次のように

改正する。

別 表第 第一 号イ中(61)を(78)とし、 (53)から(60)までを(7)から(7)までとし、 (52) を (67) とし、 (67)の次に次のように加

える。

(68) ペンタエチレンヘキサミン

(69) ミルセン

別 表第 第一号イ(51)を同号イ(65)とし、 同号イ(65)の次に次のように加える。

(66) ブテンオリゴマー

別 表第 第一号イ(50)を同号イ(64)とし、 同号イ(49)中「フタル酸ジウンデシル」 の下に「、 フタル酸ジトリデ

フタル酸ジノニル」を加え、 同号イ(49)を同号イ(63)とし、 同号イ中(48)を(62)とし、 (47) を (61) とし、 (46) を (59) と

し、(59)の次に次のように加える。

(60) ビスフェノールAのジグリシジルエーテル

別 表第 第一号イ中(45)を(58)とし、 (41)から(44)までを(54)から(57)までとし、 (40) を (52) とし、 (52)の次に次のように加

える。

(53) ドデシルフェノキシベンゼンジスルホン酸塩溶液

別 表第 第 号イ中(39)を(51)とし、 (35) から(38) まで を (47) から(50)までとし、 (34) を (44) とし、 (40の次に次のように加

える。

(45)デシルオキシテトラヒドロチオフェン―一・一―ジオキシド

(46) デセン

別 表第 第 号イ中(33)を(43)とし、 (21)から(32)までを(31)から(4)までとし、 (20) を (29) と し、 (29)の次に次のように加

える。

(30) 二・六―ジ―ターシャリブチルフェノール

(20) $\mathcal{O}$ 別 次に 表第 次  $\mathcal{O}$ 第一号イ中(19)を(28)とし、 ように 加え る。 (18) を (27) とし、 (16) (17) (17) を削り、 (15) を (26) とし、 (14) を (25) とし、 (13) を (20) と し、

(22)(21)コ コ ] ] ル ル ター タ ル ル  $\mathcal{L}^{\circ}$ 

ツ

チ

(23)• 五. 九 シ クロ ドデカトリ エ

別 表第 (24)第 シク 号 口 1 ヘプタン (12)を同 号 1 (18)とし、 同 号 イ (18) 0

次

に

次

0

ように

加

える。

(19)クレ 才 ソー  $\vdash$ <u>Э</u> 1 ル タ ] ル か 5 得 5 れ た ŧ  $\mathcal{O}$ に 限 る。

別 表第 第一 号イ(1)を同号イ(13)とし、 同 号 1 (13)の次に次  $\mathcal{O}$ ように加える。

塩化パラフィン

(炭素数が

十四四

か

ら十

七

ま

で

0

ŧ

0)

及び

その

混

合物

で

あつて、

塩 素

(14)十重 量 パ セ ン 1 以 上 か 0 炭 素数が十三以下  $\mathcal{O}$ ŧ  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 濃 度 が 重 量 パ セ ン 卜 未満  $\mathcal{O}$ の含有量が五 ŧ  $\mathcal{O}$ に 限

(16)(15)才 才 レ レ フ 1 イン ル アミン (炭素数が 八から十二までのものを含む炭素数が五から十五までの ものの混合物

炭

素 数が 六以上のアルファオレフィンの混合物を除く。 に限る。

(17)ア ル フ アオ レ フ イン (炭 素数が 八 から十二までの ŧ  $\mathcal{O}$ を含む炭 素数 が 六から 十八 までの ものの混

合 物 12 限 る。

別 表第 第一 号 イ中(10)を(12)とし、 (9) を (11) とし、 (8) を (10) と し、 (7)を(8)とし、 (8)  $\mathcal{O}$ 次に 次のように加える。

(9)ア ル ケン酸アミド (アル ケニル 基の炭素数が十一 以 上 <u>の</u> もの及びその混 合物に限る。

別 表第 第一 号イ中(6) を(7)とし、 (5)を(6)とし、 (4)を(5)とし、 (3)  $\mathcal{O}$ 次に次の ように加える。

(4)ア セ } クロ ル

表第 第二号 1 7 中 (330) を (440) とし、 (329) を (438) と し、

別

(438) の 次 に 次の,

ように

加える。

(439)レ ジ 油 (蒸留物に限る。

別 表第 第二号 イ (328) 中 重量パ セ ント以上」 を削 り、 同号イ(328) 同号イ(437) (437) 同号イ(327)を同号イ(435)

同号 イ (435) の次に 次 0 ように 加 える。

燐酸 水 素ジ 工 チ ル キ シ

(436)

別 表第 第二号イ中(32を(434)とし、 (325) を (433) と し、 (324) を (432) と し、 (323) を (430) と し、 (430)の次に次のように加える。

(431)硫 化 炭化水素 (炭 素数が三から八十八までの Ł の及びその 混合物に限

に 別 表第 第二号 1 中 (322)を (429) とし、 (321)イ を (426) (428) とし、 同 号 1 (426)(320)中 (遊 離 脂 肪 酸 が 兀 重 量 パ ] セ ン <u>|</u>

未

満

 $\mathcal{O}$ 

も の

限 る。 (427)ラテ を ツ 削 ク り、 ス 同 安定 号 1 剤 (320)を同 とし 号 7 重 とし、 量 パ セ 同 号 1 1 以 下  $\mathcal{O}$ 次  $\mathcal{O}$ に ア 次 干  $\mathcal{O}$ ニア よう を含 に 加 む え ŧ  $\mathcal{O}$ に

別 表第 第二号イ 中  $(3\dot{1}9)$ 」1、 を (425) と し、 (318) を (424) とし、 (317) を (423) と し、 (316) を (421) と し、 (421)の次 (C 次 0 限 る。 ように 加 える。

(422)酪 酸 エ チ ル

号イ 別 (417) (420) 表 とし、 第 第二号、 同 号 1 1 (417) (314) (315)中 中 遊 遊 離 離 脂 脂 肪 肪 酸 酸 が が 五. 重 重 量 量 パ パ ] ] セ セ ン } 1 未 未 満 満  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ ŧ t 0) 0 に に 限 限 る。 る。 を削 を 削 り、 り、 同 同 号 号 1 1 (314)(315)を同 を同

号 イ とし、 同号 1  $\mathcal{O}$ 次に 次の ように 加 える。

やし 油 脂 肪 酸

(419)(418)やし 油 脂 肪 酸 メ チ ル 工 ス テ ル

 $\mathcal{O}$ に 別 限る。 表 第 第 を削 号 1 り、 中 (313)同 を 号 (416)ゴイ (311) を 同 (312)円号 イ (414) とし、 を (415)同 同 号 号 1 1 (311)中 (310) 中 を (413) 遊 とし 離 脂 肪 (292)酸 から が 十 二 (309)まで 重 量 を(395)から(395) パ ] セ ン (412) まで とし 卜 未 満  $\mathcal{O}$ ŧ

(291)を (394) (393) とし、

(393)の次に次のように加える。

表第 第二号 メタクリ ル 酸 ドデシ ル 及び メタク ノリル

1 中 (290) を (392) とし、 (284) 5 (289) ま で

を (386)

酸オクタデシ

ル  $\mathcal{O}$ 

混合:

(384)

の次に次の

ように

加

360, 391) (391) までとし、 (283) を (384) と し、

える。

別

表第 第二号イ(282) 第二号イ(379) (379) 同号イ(37の次に次のように加える。

別

(385)

ンゴ

核油

ポリブテニルこはく酸 イミド

ポリブテン

(383) (382) (381) (380) ポリプロピレ (重合度が五以上 0 ŧ 0 及びその混合物に限る。

ポ リメチレ ポ ij フ 工 = ル 1 ソシ ナ

別 表第 第二号イ中(281) (378) (378) (277) 5 (280) まで、 を(374) から(377) までとし (276) を (372) とし (372) $\mathcal{O}$ 次 いに次の ように

加

える。

(373)ポ リオレ フィンアミノエステル塩 (分子量が二千以上のもの及びその混合物に限る。

別 表第 第二号イ中(27を)(371)とし、 (274)215 を (366) と し、 (366) $\mathcal{O}$ 次に次のように加え

(369) (368) (367) ポ リエ ] テ ル (分子量が千三百 五. 十 以 上  $\mathcal{O}$ t  $\mathcal{O}$ 及び そ  $\mathcal{O}$ 混 合物 に 限 る。

ポ ポ ij IJ エ エ チ チ レ レ ン ン ポ ポ IJ リアミン アミン 及 び  $\widehat{\sim}$ ンタエ 流 動 パ チ ラ フ ン イ ^ ン 0) キ サミンを除 混 合溶 液 (炭 (素数が 五. か ら二十までの 流 動 パラフ

イ ン 0 濃 度が 五 + 重 量 パ セント を超えるも 0) に 限

(370)ポ ij 才 レ フ 1 ン (分子量が三百 以 Ĺ  $\mathcal{O}$ ŧ  $\mathcal{O}$ 及び その 混 合物に 限

表第 第二 号 1 中 とし、 とし、  $\mathcal{O}$ 次 (C 次  $\mathcal{O}$ よう に 加 え る。

別

(364)

ポ

IJ

テ

ル

丰

レ

ング

IJ

コ

ル

干

1

ア

ル

丰

ル

エ

テ

ル

ア

セ

タ

1

テ

ル

キ

ル

基

 $\mathcal{O}$ 炭

素数

が

か

(273)を (365) (272)を (363) (363)

で 0 ŧ  $\mathcal{O}$ であ つて、 重合度が二か 5 八ま で 0 t 0 及びその 混 合物に 限

表第 第 二 号 イ (271) 4を同号イ(361) 同 号 イ (361) の次に次 0 ように 加 でえる。

別

(362)ホ ワ 1 1 ス  $\mathcal{L}^{\circ}$ IJ ツ 1 (芳 香 族 系 成 分分  $\mathcal{O}$ 含有 量 が + 五 重 量 パ セ ン ト 以 上二十重量 パ セ ン 1 以下

 $\mathcal{O}$ ŧ  $\mathcal{O}$ 12 限 る。

別 表 第 第二号イ中(270) (360)とし、 (264)-04 から(269) までぇ を (354) 35から359) (359) までとし、 (263) を (352) と し、 (352)の次に次のように加

ペテ

ロラタ

える。

別 表第 (353)第二号イ 中 (262) を (351) と し、

> (249)か

がら(261) (261) までを(338)

から(350)までとし、

(248) を (336) と し、

(336)

の次に次の

ように

加

(337)プロ . ك オ 酸 エチル

表第 (332)第二号イ中(247) (24. を (335) と し、

別

える。

別

表第

第二号イ

ヤ (243) を (330) と し、

(240) から(242) までな

を(327) から(329) までとし

分解

ガ

ソリ

ンゼンを含む

ŧ

 $\mathcal{O}$ 

に

限 る。 (246) を (334) と し、

(245) を (333) と し、

(244) を (331) と し、

(331)の次に次のように加える。

に 加

(239) を (323) と し (323) の 次 に 次

(濃度が二十 重量 パ セ ント以上三十重量 セ ント以 下 . (7) ŧ  $\mathcal{O}$ に限る。

ふつ

化

け

1

酸

水

溶

液

フタ

ル

|酸二||

ヒドロキシエト

キシエ

チ

ル

(326) (325) (324) 直 鎖 不 飽 和 脂 肪 酸 炭 素 数 が 六 以 上  $\mathcal{O}$ ŧ  $\mathcal{O}$ 及 び その 混 合物 に 限

表第 第二号イ中(238) (322) (237) を (321) と し、 (236) を (318) と し、 (318)の次に次のように加える。

別

える。 別 表 第 (320)(319)第二号 フタ フ タ ル ル 1 酸ジ 酸ジトリデシ 中  $(2\dot{3}5)$ を (317) =

(229)

か

5

(234)

ま

で

を (311)

か

5

(316)

までとし

(228)

を (309)

とし

(309)

 $\mathcal{O}$ 

次

に

次

 $\mathcal{O}$ 

ように

加

(310)F, ス フ 工 ル F  $\mathcal{O}$ ジグリシジ ル 工 テ ル

別 表 第 第二号 1 (226)(227)を同 号 1 (306) (307) (308) とし、 同 号 1 (225)(226)中 (遊 離 脂 肪 酸 が 七 重 量 パ セ ン 1 未 満  $\mathcal{O}$ ŧ  $\mathcal{O}$ に 限 る。

を 削 り、 同 号 1 (225)を 同 号 1 とし、 同 号 1 中 (224)を (305)とし、 (223)を (304)(222)同 묶 1 中

脂 肪 酸 が 五. 重 量 パ ] セ ン  $\vdash$ 未 満  $\mathcal{O}$ ŧ  $\mathcal{O}$ に限る。 を削 り、 同 可号 イ (221) を同<sub>号</sub> 号 イ を (299) (303) 同号 1 (299)(221) $\mathcal{O}$ 次 に 次

 $\mathcal{O}$ ょ うに 加 える。 離

を削

り、

同

号

1

を

同

号

1

とし、

同

号

1

中

遊

離

脂

肪

酸

が

重

量

]

セ

ン

1

未

満

 $\mathcal{O}$ 

ŧ

 $\mathcal{O}$ 

に

限

る。

游

(302) (301) (300) パ パ ] ] 4  $\Delta$ 油 油 脂 脂 肪 肪 酸 酸 メ (蒸留 チ ル 物 工 ス に テ 限 る。 ル

パ ] A 油  $\mathcal{O}$ 分 別 物

号 1 別 (294) (297) (298) 表 とし、 第二号 同号 1 (294) (218) (219) (220) 中 中 **(遊** (遊 離 離 脂 脂 肪 肪 酸 酸 が が 五. 五. 重 重 量 量 パ ] 七 セ ン 1 1 未 未 満 満  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ £ Ł  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ に に 限 限 る。 る。 を を 削 削 り、 同 同 号 号 1 1 (218) (219) (220) を同 を を 同 同

号 1 とし、 同 号 1 中 遊 離 脂 肪 酸 が 五. 重 量 パ セ 1 未 満  $\mathcal{O}$ ŧ  $\mathcal{O}$ に 限 る。 を削 り、 同 号 1

号イ とし、 同 号 1  $\mathcal{O}$ 次 に 次  $\mathcal{O}$ ように 加 え る。

(296)(295)パ ]  $\Delta$ 核 ステ アリ

パ

]

A

核

才

イ

別 表 第 第二 号 1 中 (217)を (293) とし、 (211)か 5 (216)ま で を (287) か 5 (292)ま でとし (210)を (285) とし (285) $\mathcal{O}$ 次 に 次

0)

よう

É

加

(286)ノル 7 ル ア ル 力 炭 素数 がが + 以 上  $\mathcal{O}$ ŧ  $\mathcal{O}$ 及び そ  $\mathcal{O}$ 混 合 物 に限

える。

別 表第 号 1 (209)を 同 号 1 (283)とし、 同 号 1 (283) $\mathcal{O}$ 次 に 次  $\mathcal{O}$ よう に 加 える。

(284)ノニ ル フ エ ] ル ポ IJ エ 1 キ シ ラ 1 重 合 度 が 兀 以 上  $\mathcal{O}$ ŧ  $\mathcal{O}$ 及 CK そ  $\mathcal{O}$ 混 合 物 に 限

別 表 第 第二号 中 (208).0、 を (282) と し、 (200)か 5 (207)ま で を (274)から (281)までとし (199)を (271) とし、 (271) $\mathcal{O}$ 次 に 次のように 加

える。

(273)(272)パ 才 ラニ ル 1 1 =  $\vdash$ 口 1 口 1 ル 工 ル 工 ン

別 表第 第二号、 1 (198)を 同 号 1 (269)とし、 同 号 イ (269)  $\mathcal{O}$ 次 に 次 0

(270)ニト 口 工 タ ン 及 び =  $\vdash$ 口 プ 口 パ ン  $\mathcal{O}$ 混 合 物 (そ ように れ ぞ 加 れ える。  $\mathcal{O}$ 濃 度が 五 重 量 パ セ

 $\vdash$ 

以

 $\mathcal{O}$ 

 $\mathcal{O}$ に 限る。

別 表 第 第二号イ(197)を同 号 イ (268) とし、 同 号 イ (196) 中 (低 エ ル 力 一酸であ つて遊離 脂肪 酸が 匹 重量 パ ] セ

未 満  $\mathcal{O}$ ŧ  $\mathcal{O}$ 12 限 る。 を削 り、 同 号 1 (196)を同 号 1 (266)とし、 同 号 1 (266) $\mathcal{O}$ 次 に 次  $\mathcal{O}$ ように 加

え

(267)菜種 油 脂 肪 酸 メ チ ル 工 ス テ ル

別 表第 第二 一号イ 中 (195) を (265) とし、 (180)か 5 (194)ま で を (250) か (264) までとし (179)を削 り、 (178)を (249) とし (177)を (248)

同 号 1 (176)中 ( 遊 離 脂 肪 酸 が 二 • 五. 重 量 パ ] セ ント 未 満  $\mathcal{O}$ ŧ のに 、 限 る。 を削 り、 同 号 イ (176) で を 同 号 イ (244)

同 号 1 (244) $\mathcal{O}$ 次 E 次  $\mathcal{O}$ ように 加 える。

(246)(245)1 ル 油

1 ル 油 脂 肪 酸 (樹脂: 酸分が二十 重量 ] セ 未満 0 も の に限る。

(247)卜 ル 油 ッチ

別 表第 第二号 1 (175)中 (遊離 脂 肪 酸 が 十重点 量 ] セ ン ト未 満  $\mathcal{O}$ ŧ のに限る。 を削り、 同 号 イ (175) を同

号 イ (243)とし、 同号 イ 中 (174) を (242) とし、 (173)を (241) とし、 (172)を (240) (171)を (238)(238)の次 に 次  $\mathcal{O}$ ように 加 え

(239)テトラデシ ル アミン及び ド ・デシ ル ア ミン  $\mathcal{O}$ 混 合

別 表第 第二号イ中(170) (1元) を (237) と し、 (169) を 削 ŋ (168)を (236) とし、 (167)を (235) とし、 同号 1 (166)中 (遊 離脂

五 重 量 パ セン  $\vdash$ 未満  $\mathcal{O}$ もの に 限 る。 ) を削 り、 同 号 イ (166) を 同 号 ゴイ (234) と し、 同 号 イ (165) 中 ( 遊 離 肪 脂 酸 肪 が 酸

が

十五 重 量 パ セ ン 1 未 満  $\mathcal{O}$ ŧ  $\mathcal{O}$ に 限 る。 を削 り、 同 - 号 イ (165) を同 . | | | | | (232) と し、 同 号 1 (232) O 次に 次 0) ように

加 え る。

(233)タロ 脂 肪 酸

別 表第 一号イ (164) を同品 号 イ (229) とし、 同 号 イ (229) の次に次のように加える。

(231)(230)石炭 酸 油

石 油 ス ル ホ 酸  $\vdash$ IJ ウ A

別 表第 第二号イ(163) 第二号イ(22とし、(22とし、) 同号 イ22の次に次のように加える。

える。

別 (228)スチ

表第 第二号イ中(162) (226)

(148)

から (161) までを (212) 214) (225) (225)

(208)

の次に次のように加

(147) を (208) と し、

アミン及び二・二・ 兀 トリメチルペンテンの反応生成物

ジフ

エ

=

ル

フ

エ

=

ル

アミン

(211) (210) (209) ジ フ エ = ル メ タンジイソシ アナ

(146)を (207) とし、

別

表第

第二号イ

中

ク

口

口

プ

口 ピ

才

酸

(145)を (203) (203)

の次に

次の ように加える。

キサン

(206) (205) (204)

ジ

ク

口

口

ジク

口

口

メ

第二号イ 中 (144)を (202) (143) を (201) (142)を (197) (197) $\mathcal{O}$ 次に 次の ように

加える。

別

表第

兀 ジ ク 口 口 フ エ 1 キ 酢 酸 ジ 工 タ ル ア 、ミン塩 液

(199) (198) 兀 ジ ク 口 口 フ 工 + シ 酢酸ジ メチ ルアミン塩溶液 (濃度が -重量パ セ 以下の ŧ

 $\tilde{\mathcal{O}}$ 

(200)兀 ジ ク 口 口 フ エ 丿 キ シ 酢 酸トリ イソプロ パ ノ | ル アミン塩溶

液

とし、

(136)

を (192)

(135)

を (190)

別 表第 第二号 1 中 (141)を (196) とし、 (140)を (195) (139)を削 り、 (138)を (194) とし、 (137)を (193)

の次に 次  $\mathcal{O}$ ように加える。

(191)(190)六 -ジエチル アニリン

別 表第 第二号イ(134) 吗号 イ (188) とし、 同 号 イ (188) 0 次に次のように加える。

(189)ジイソプロ ピ ル ナ フタレ

号 中

(133) を (187) と し、 (130) から (132) まで \* を (184) .184, から(186) までとし、

(129) を (182) と し、

(182)

 $\mathcal{O}$ 

次

に

次 0

よう

に

加

る。

える。

別

表第

別 表第 (183)硝酸 アル キ ル P ル キル 基の炭素数が 七 から九までの も の 及び そのに 混合物 に限

第二号イ 中 (128) を (181) とし、 (120) カュ 5 (127) ま で を (173) から (180)までとし (119) を (170) と し、 (170) $\mathcal{O}$ 次 に 次の ように 加

(171)

える。

脂 肪 酸 メチ ル 工 ス テル える。

(172)直 鎖 脂 肪 族 アル コ ] ル (炭素数が八から十八までの もの及びその混合物に限

別 表第 第二号、 イ (167) とし、 同号 イ (167) の次 に次 0 ように 加える。

ちイ (118) を同号。

脂 肪 酸 (炭 素 数 が 八 カン 5 十まで又は 十二以 上  $\mathcal{O}$ ŧ  $\mathcal{O}$ 及 び その 混 合物

に限

(169)(168)脂 肪 酸 蒸 留 物 (植 物 油  $\mathcal{O}$ 精 製  $\mathcal{O}$ 際 に 生ずる Ł 0) に 限 る。

.1. を (166) と し、

別 表第 第二号イ 中 (117) (112)か 5 (116)まで を (161) ()から(165) (111) を (159) と し (159)の次に次のように加

(160)シクロ ア ル カン (炭素) 数 が + 以 上  $\mathcal{O}$ ŧ 0) 及 び そ  $\mathcal{O}$ 混 合物 に . 限る。

える。

別 表第 第二号: を同 同  $\mathcal{O}$ 次 に次  $\mathcal{O}$ ように 加 がえる。

イ (110) 向 号 イ (157) とし、 号 イ (157)

第二号イ 中 (109) .1ぃ を (156) と し、 (108)(108) を (155) と し、 (107)(157) を (154) とし、 (106) を (152) と し、 (152)の次に次のように加

える。

別

表第

(158)

シアバ

ター

(153)サフラワ 油

別 表第 第二号イ 中 (105) を (151) とし、 (99)か パら (104) までょ を (145) .l4から(150) (150) までとし、 (98) を (142) と し、 (142) $\mathcal{O}$ 次 に次  $\mathcal{O}$ ように

加

別 表第 (144)(143)第二号イ中(97) 酢酸 酢酸トリデシ ノル 7 ル を (141) 才 クチル

(139)米 ぬ か 油 (96) を (140) とし、 (95) を (138) と し、

(138) の 次 に 次 の た

ように

加える。

別 表第 第二号イ(94)を同号イ(136) 同 号 イ (136) の次に次のように加える。

表第 (137)第二号イ ル ター 中 (93)ル を (135) とし、 (92) を (134) ナフサソルベント

別

コ 

(132) (131)

グリ

才

キ

シ

ル

酸

溶

液

(濃

度が一

五十

重

グリセリン

モ

ノオレ

イン

酸

とし、 (91) を (133) とし、

(90) を (130) と し、

える。

量 パ ] セ ント 以 下 . の も の に 限 (130)の次に次のように加

える。 別 別 表第 表第 (124)第二号イ中(83)を(122) 才 第二号イ中(89) ル 1 ク 口 口 、39, を (129) と し、 =  $\vdash$ 口 ロベンゼ 、 (82) を (121) と し、 (85)から(88) までを(125) (81) を (120) と し、 から(128) までとし (80) を (118) と し、 (84) を (123) と し、 (118)の次に次のように加える。 (123)の次に次のように加

(119) クレゾールナトリウム塩溶液

別 表 第 第二号 1 (79)中 ( 遊 離 脂 肪 酸 が 兀 重 量 パ ] 七 ン ト未 満  $\mathcal{O}$ ŧ のに 限る。 を削 り、 同 . | | | | | | (79)を同

号イ (117)とし (113)キシ 同号 レ ン 1 中 及 び (78)エ を チ (116)とし、 ル べ ン ゼ (77)ンの を (115)とし、 混 合 物 (76)<u>、</u>エ を チ (114)とし、 ル べ ン ゼ (75)ン を  $\mathcal{O}$ (112)とし、 濃 度 が + (112)重  $\mathcal{O}$ 次 量 に パ 次  $\mathcal{O}$ セ よう ン } É 以 上 加  $\mathcal{O}$ え る。 ŧ  $\mathcal{O}$ に

限る。)

別 表 第 第二号 イ (74)を同 号イ  $(1\dot{1}1)$ とし、 同 号 イ (73) 中 六十 重 量 パ ] セ ント を 八 重量 パ ] セ ン <u>\_</u> に改 8

同 . 号 イ (73)を同 号 1 (109)とし、 同 号 1 (109) $\mathcal{O}$ 次 に 次  $\mathcal{O}$ ように 加 える。

(110)力 シ ユ ウナ ツ ツ シ エ ル 油 未 精 製  $\mathcal{O}$ Ł  $\mathcal{O}$ 12 限 る。

別 表第 第二号イ(72) を同 号 1 (107)とし、 同 号 イ (107)の次 に 次 0 よう 加 える。

(108)カカオ脂

別 表 第 第二号 1 中 (71)を (106)とし、 (70)を (105)とし、 同 号 1 (69)中 遊 離 脂 肪 酸 が 三・三重 量 セ ン 1 未 満  $\mathcal{O}$ 

ŧ  $\mathcal{O}$ に 限 る。 を 削 り、 同 号 1 (69)を同 号 ライ (104) と し、 同 号 1 中 (68)を (103) とし、 (67) を (102) と し、 (66) を (101) と し、 (65) を

(98) と し、

(98)

 $\mathcal{O}$ 

次に

次の

ように

加える。

別表第一第二号イ中 (100) (99) 塩化ベンジル (64)

える。 中 (64) (97) (60) ら(63) までを(93) から(96)までとし、 (59) を (90) とし、 (90)の次に次の

ように加

(91) エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム塩溶液

(92)エ トキ シ化長鎖アル コ キ シ アル キルアミン (アルキル基の炭素数が十六以上のもの及びその混合

物に限る。)

別 表第 第二号イ 中 (58) を (89) とし、 (57) を (87) とし、 (87) $\mathcal{O}$ 次に 次の ように 加える。

(88) エチレングリコールモノメチルエーテルアセタート

別 表第 (85)第二号イ中(56) 工 チレ ング IJ (86) とし、 コ ル 干 ノア (55) を (84) とし、 セタ (84)の次に次のように加える。

別 表第 第二号 1 中 (54)(83) とし、 (53)を (82) とし、 (52) を (80) とし、 (80)の次に次の

(81)エ チ ĺ ン及び酢酸ビニ ル の共重合体 ように加える。

別 表第 第二号イ(51)を同号イ(78)とし、 同 号 イ (78) の次に次のように加える。

(79) エチルペンチルケトン

別 表第 第二号、 1 中 (50)(77)とし、 (49) を 削 り、 (48) を (76) とし、 (40) ら (47) までを(68)から(75)までとし、 (39) を (66) とし

、66の次に次のように加える。

(67) イリッペ油

別 表 第 第二号 イ 中 (38) (65) (65) (35)か ら(37) までを(62) から(64)までとし、 同 号 イ (34) 中 イ ソプロピ ルアミン」

の 下 に 及 びその 溶液 (濃 度 が 七 + 重 量 パ セ ン 1 以 下  $\mathcal{O}$ ŧ  $\mathcal{O}$ に 限 る。 を加 え、 同号イ (34)を 同 高号イ(61)

同 号 1 中 (33) を (60) と し、 (32) を (57) とし、 (57) $\mathcal{O}$ 次 に 次  $\mathcal{O}$ よう (Z 加 え る。

(58)1 ソ ア ル カン (炭素数が 十以上  $\mathcal{O}$ ŧ  $\mathcal{O}$ 及 U その 混 合物 に 限る。

(59)イソア ル カン (炭 (素数が + 以 上  $\mathcal{O}$ Ł 0 及 人びそ 0) 混 合 物 に 限 る。 及び シクロ ア ル カン (炭素数

+ 以 Ĺ  $\mathcal{O}$ t  $\mathcal{O}$ 及 び そ  $\mathcal{O}$ 混 合 物 に 限 る。  $\mathcal{O}$ 混 合 物

別 表 第 第二 一号 1 中 (31)(56) とし、 (28)か 5 (30)ま で を (53)から (55)までとし、 同 号 イ (27) 中 「十まで」 を 四十 まで

に 改め、 同号イ(27)を同号イ(46)とし、 同号イ46の次に次のように加える。

(47)アルキ ルフェ ノ | ルポリエトキシラート (アルキル基の炭素数が七から十一までのものであつて

、重合度が四から十二までのもの及びその混合物に限る。)

(48)アル 丰 ル べ ン、 ゼン  $\widehat{\mathcal{T}}$ ル # ル 基  $\mathcal{O}$ 炭 素 数 が 三又は 兀  $\mathcal{O}$ ₽  $\mathcal{O}$ 及 び その 混 合物 並 び に ア ル 丰 ル 基 の炭

素 数 が 九 以 上の も の (ドデシ ルベ ンゼ ン を除い 及 び ア ル キ ル 基  $\overline{\mathcal{O}}$ 炭 素数 が 九 以 上  $\mathcal{O}$ ŧ  $\mathcal{O}$ 0) 混

合

物に限る。)

(49)アルキ ルベンゼン スルホン酸 (アルキル基の炭素数が十一から十七までのもの及びその混合物に

限る。)

(50)アル キ ル べ ン ゼ ン ス ル ホン 酸 ナト ・リウ ム 塩 溶液

(51)アル キ ルベ ンゼン 0 混 合物 <u>}</u> ル 工 ン を五十重量パーセント以上含むものに限る。

(52) アルキルベンゼンの蒸留残留物

別 表第 第二号イ(26)を同号イ(44) とし、 同 号 イ (44)  $\mathcal{O}$ 次に · 次 0 ように 加 "える。

(45)長鎖 ア ル 丰 ル フ 工 ノー ル 塩 及び 硫 化 フ 工 1 ル  $\mathcal{O}$ 混 合 物

別 表第 第二号イ(25)を同号イ(41)とし、 同号イ41の次に次のように加える。

(42)ア ル 丰 ル ジ フ エ = ル アミン

(43)ア ル 丰 ル ス ル ホ ン 酸 ナ 1 ij ゥ  $\Delta$ 塩溶液  $\widehat{\mathcal{T}}$ ル + ル 基 一の炭 次素数が 十 四 か ら十七、 までの もの及びその

混 合物 で あ 0 て、 濃 度が 六 + 重 量 パ セ ン 1 以 上六 十 五. 重 量 パ セ ン 1 以 下  $\mathcal{O}$ t  $\mathcal{O}$ 12 限 る。

別 表第 第二号: 7イ(24)を同り 号、 1 (36) と し、 同 号 イ (36) $\mathcal{O}$ 次 に 次  $\mathcal{O}$ よう に 加え る。

(37)

限 る。 (38)

長鎖

ア

ル

丰

ル

サ

IJ

チ

ル

酸

7

グネシウム

P

ル

丰

ル

基

の 炭

素数

が

+

以

上

0 t

0

及

人びその

混合物

に

る。

長鎖

アル

キ

ルサ

ý

チ

ル

酸力

ル

シ

ウ

Ĺ

テ

ル

丰

ル

基

の炭素数が十三以上

のもの及びその混合物に限

(39)長鎖 アル + ルジチオカルバミドのモリブデンポリス ル フ 1 ド 錯体

(40)アル キ ル ジ チオチアジアゾ ル (アルキ ルル 基 の炭素数 が 六から二十四までの もの及びその混

に 限 る。

同号イ(3)とし、同号イ(2)を同号イ(3)とし、 別 表 第 第二号 1 中 (23)(35) (22) を (34) 同号イ(31の次に次のように加える。 とし、 同 号 1 (21)中 十 か 5 を 九 か ; ら \_ に改 め 同 号 イ (21) を

(32)長鎖 アルキ ルアリー ル ス ル ホン酸 マグネシウム (アルキ ル基の炭素数が十一 から五十までの も の

及びその混合物に限る。)

別 表第 第二号、 1 (19)を 同 号 イ (29) とし、 同 号 イ (29) の次に次  $\mathcal{O}$ ように 加 える。

(30)長鎖 ア ル + ル ア IJ ] ル ス ル ホ ン 酸  $\widehat{\mathcal{T}}$ ル キ ル 基  $\mathcal{O}$ 炭 素 数 が 十六 から六十までの も の 及び その混合

物に限る。)

別 表第 第二号イ(18)を同 四号イ(26)とし、 同 号 イ (26) の次に次  $\mathcal{O}$ ように 加える。

(27)長鎖 ア ル 力 ン 酸 銅 塩 (炭 素数 が + 七 以 上  $\mathcal{O}$ ŧ  $\mathcal{O}$ 及 び そ  $\mathcal{O}$ 混 合 物 に 限 る。

(28)アル 丰 ル アミン燐 酸 エ ステ ル テ ル 丰 ル 基  $\mathcal{O}$ 炭素数が 十二か 5 + 应 ま での ŧ O及び しその 混 合物 に

限る。)

別 表 第 第二号 イ 中 (17) (25) とし、 (14)か から(16) まで、 を (22) から (24) までとし、 同 号 イ (13) 中 ( 遊 離脂 肪 酸 が二重量

パ セ ン } 未満  $\mathcal{O}$ ŧ  $\mathcal{O}$ に 限 る。 を削 り、 同 号 イ(13)を同号イ(21)とし、 同号イ中(12)を(20)とし、 (11) を (19) とし、

(10を16とし、16の次に次のように加える。

(17) アジピン酸ジトリデシル

(18)アセトニトリル (濃度が八十重量パーセント以上八十五重量パーセント以下のものに限る。)

別 表第 第二号イ9を同号イ(13)とし、 同号イ(13の次に次のように加える。

(14)アジピン 酸才 クチ ルデシ ル

(15)アジピ ン酸ジ イソノニル

別

表第 第二号イ(8)を同号イ(10)とし、 同号イ(1)の次に次のように加える。

(12)アシ ツド オ 1 ル (大豆油、 とうもろこし油及び ひま わ 'n 油  $\mathcal{O}$ 精 製の際に生ずるもの 0 混 合物 に限

る。

(11)

アシ

ッドオイル

(植物油、

パ

-

ム油又はパ

]

ム核

油

の精製の際に生ずるものに限る。

別 表第 第二号イ中(7を9)とし、 2から6までを4から8までとし、 (1)を(2)とし、 (2)の次に次のように加

える。

(3)アク IJ ル 酸 アル + ル 及びビニルピリジンの 共重合体のト ル エ ン 溶液

別 表第 第二号イ に(1)とし て次のように 加 える。

(1) アクリルアミド溶液 (濃度が五十重量パーセント以下のものに限る。)

別 表第 第二号イに次のように加える。

(441)ワックス (パラフィンワ ックスを除く。)

別 表第 第三号イ(4)中 「アセトニトリル」 の 下 に \_ (濃度が 八十五 重量 デパー セ ントを超える もの に限

を削 える。

を加い

え、

同号

イ

中

(17) を 削

り、

(16) を (17) とし、

(15) を (16) とし、

(14) を (15) とし、

(12) 及び(13) (13)

り、

(11) を (14) とし、

(10)

る。

(9) を (13) とし、 (8)を11とし、11の次に次のように加

(12)長鎖 アルキルアリー ル ス ル ホ ン酸カル シウム (アルキル基の炭素数が十一から五十までのもの及

び その 混 合物 に限 る。

別 表第 第三号 1  $\dot{(7)}$ を 同 号イ(10)とし、 同号イ(6)  $\mathcal{O}$ 次 に次  $\mathcal{O}$ よう に 加 "える。

(7)アミノ エチル エタ ノー ルアミン及びアミノエチルジエタノー ルアミンの混合溶液

(8)N-アミノエチルピペラジン

(9)ニー (ニーアミノエトキシ) 工 タノー ル

別 表第 第三号イ 中 で (18) を 削 り、 (19) を (18) とし、 (20)を で (19) と し、 (21) を (20) とし、 (20の次に次のように加える。

(21)エチレ ングリコ ] ルモ ノフェニ ル 工 ] テル

別 表第 第三号イ(2)を次のように改める。

(22)エ チ レ ング IJ コ ] ル 干 ノフ 工 = ル エ ] テ ル 及びジ エチレ ングリコ ] ル モ ノフ エ =

ル 工

]

テ

ル

 $\mathcal{O}$ 

混

次

物

別 表第 第三号イ ィ中 (133) を 削っ り、 (132) を (155) と し、 (128) (131) (151) (151) (154) (154) (127) を (149) と し、 (149) の 次

 $\mathcal{O}$ ように 加 える。

(150)硫化 ポ ・リオレ フ インアミドアルケンアミン (ポリオレ フ イン基 の炭素数が二十八から二 一百 五· 十ま

で  $\mathcal{O}$ ŧ  $\mathcal{O}$ 及 Ţ そ  $\mathcal{O}$ 混 合物 に 限 る。

別 表第 第三号 1 中 (126) を (148) と し、 (125) を (147) と し、 (124) を (146) と し、 (123) を (141) と し、 (141) $\mathcal{O}$ 次に

次

 $\mathcal{O}$ 

ように

加

え

る。

(142)ラテ ツクス (スチレン及びブタジ エ ン 0 共重合体をカ ハボキ シル 化 L た ŧ 0 並び にスチレ ・ンブタ

ジ エ ンゴ 7 に 限 る。

リグ ン ス ル ホ ン 酸 アン 干 = ウ 4 溶 液

IJ グ = ン ス ル ホ ン 酸 力 ル シ ウ L 溶 液

(145) (144) (143) リグ ニン ス ル ホ ン 酸ナ } ij ゥ  $\Delta$ 塩 溶液

別 表第 第三号イ ヤ (122) を (140) と し、 (119) から(121) までを(137) 137 から139) までとし、 (118) を (135) と し、 (135)の次に次のように加

える。

(136)ニーメチル ・三一プ 口 パ ンジ 才 ル

(124)

 $\mathcal{O}$ 次

に

次のように加える。

別 表第 第三号イ イ 中 (117) を (134) と し、 (110) カュ 5 (116) まで、 を(127) から(133) にとし (109) を 削 (108) を (126) と し、

(107) を (124) と し

(125)メタ クリ ル 酸 及び メタクリル 酸 ア ル コ 丰 シポ リ(オキシアル 丰 レ の共重合体のナ トリウ ム 塩

水 溶液 濃 度 が 匹 + 五 重 量 パ セ ン 1 以 下  $\mathcal{O}$ ŧ  $\mathcal{O}$ に 限 る。

を (122) 別 表 第 (104) を (121) 第三 号 とし、 イ (106) 中 (103) を (119) 「ア ル とし、 キ ル 基 (119)を の次に次のように 「ア ルケニ ル 基 加 ゚゙゙える。 に 改 め、 同 号 イ (106) を 同 号 ラ イ (123) と し、 同 号イ中

(105)

(120)ポリグリセリンナ トリウ ム塩 溶 液 水 酸 化ナト ij ゥ 4 0) 含有量が三重量 セ <u>|</u> ·未満  $\mathcal{O}$ ŧ 0 に

限 る。

別 表第 (113)第三号 ポ リア クリ 中 ル (102)り。 を (118) と し、 酸溶液 ( 濃 度が同 (101)を (117) 兀 1十重量。 とし、 パ (100)10 を (116) と し、 ] セント · 以 下 (99) $\bigcirc$ を (112)ものに限る。 (112)の次に 次のように 加える。

ポ リア クリ ル 酸 ナ トリウ ム溶 液 (重合度が 四以 上  $\overline{\mathcal{O}}$ ŧ の及びその 混合物 に 限

(115)(114)ポ ・リア ル 丰 レ ン グ IJ コ ] ル 七 ノ ア ル 丰 ル エ テ ル テ ル 丰 ル 基  $\mathcal{O}$ 炭 素 数 が か 5 六 まで  $\mathcal{O}$ ŧ 0 で

あ 0 て、 重 合 度 が カン 5 八 ま で  $\mathcal{O}$ t  $\mathcal{O}$ 及 び そ  $\mathcal{O}$ 混 合 物 12 限 る。

(86)を 別 (100)表 とし、 第 第三号 (100)の次に 1 中 次 (98)のように 加 える。 (97) を 削 り、 (96)を (110) とし、 (88)か 5 (95)まで を102) (109) (109) (87) を 削

(101)ブレ 丰 液 基 剤 (ポ リア ル 丰 レ ン グ IJ コ ル P ル キレ ング IJ コ ル 0 炭 素 数が二又 は三  $\mathcal{O}$ Ł  $\mathcal{O}$ 

であ つて、 重 合 度 が二 か 5 八 ま で  $\mathcal{O}$ t  $\mathcal{O}$ 12 限 る。 ポ IJ ア ル 丰 V ン グ IJ コ ル 干 ノア ル 丰 ル 工 ]

テ ル テ ル 丰 V ン グ IJ コ ル  $\mathcal{O}$ 炭 素 数 が か 5 + ま で  $\mathcal{O}$ Ł  $\mathcal{O}$ で あ つて、 ア ル キ ル 基  $\mathcal{O}$ 炭 素 数 が

か

5 兀 ま で 0 (85)t  $\mathcal{O}$ に 四号イ(98)とし、 限 る。 及びそ れ イ (98) らの ほ う 酸 工 ス テ ル 0 混 合 物に . 限る。

(99)ブチ ル ア ル コ ル

別

表

第

第三号

1

を

同

同

号

 $\mathcal{O}$ 

次

に

次

 $\mathcal{O}$ 

ように

加える。

別 表 第 第三 号 1 中 (84)を (97) とし、 (81)か 5 (83)ま で を (94)から (96)までとし、 (80) を 削 り、 (79) を (93) とし、 (78) を (92) と し

(77)(88) (88)0 次に 次の ように加える。

(89)トリ メチロ ] ル プ 口 パ ンプロポキシラート

(90)ドデシルベン ゼン

(91)ナフ タ ス ル ホ ン 酸 及 び ホ ル ムア ルデヒドの 共重合体のナトリウ ム塩 溶 液

別 表第 第三号イ中(76)を(87)とし、 (69) から(75) までを(80) から(86)までとし、 (68) を (78) とし、 (78)の次に次のように加

える。

(79)チオ硫 一般アン モニウム溶液 (濃度が六十重量パ ] セント以下の ものに限る。

別 表第 第三号イ中(67)を(7)とし、 (62) カュ ら(66)までを(72) から(76)までとし、 (61) を (70) とし、 (70)の次に次の ように加

える。

(71)水酸化 カル シウム

別

表第

第三号イ中

(60)

(59) を (68) とし、

(58) を (63) とし、

(63)の次に次のように加える。

(69)

(64)ジェ チレ ング リコ ル ジ 工 チ ル 工 テ ル

(65)ジ 工 チレ グ IJ コ ル ジ ブ チ ル 工 ] テ ル

(66)ジ 工 チレ ントリアミン五 酢 一酸五ナ ٦ ーリウ Ĺ 塩溶液

(67) 一・一―ジクロロエタン

別 表第 第三号イ中 (57)(62) (54)カ ら(56)までを(59) から(61)までとし、 (53) を 削 り、 (52) を (57) とし、 (57) の 次 に 次

のように加える。

(58)硝酸 力 ル シ ウ ム 溶 液 (濃 度が 五 + 重 量 パ ] セ 1 以 下  $\mathcal{O}$ ŧ  $\mathcal{O}$ に 限る。

別 表第 第三号イ ·中(51) (56) (56) (56) (50) を (55) とし、 (49) を (54) とし、 (48) を削り、 (47) を (52) とし、 (52)の次に次のように

(53) 酸素含有脂肪族炭化水素

加え

る。

別 表第 第三号 1 中 (46)(51) とし、 (45) を (50) とし、 (44) を (49) と し、 (43) を 削 り、 (42) を (48) と し、 (41) を (47) とし、

(40) を (46)

こし、(3を削り、(3を41とし、(4)の次に次のように加える。

(42)グリ セ リン 工 トキシラー ト及びグリセリンプロポ キシラー }  $\mathcal{O}$ 混合 物

(43)グリ セ リン エ 1 丰 シラー <u>۱</u> グリセリンプロ ポキシラー ļ ス ク 口 ス 工 トキシラー ト及びスク

ロースプロポキシラートの混合物

(44) グリセリンプロポキシラート

(45)グリセリンプロポキシラート及びソルビトー ルプロポキシラートの混合物 (アミンの含有量が十

重量パーセント未満のものに限る。)

別 表第 第三号 イ 中 (37) (40) (28)か ら(36)までを(31)から(39)までとし、 (27) を削り、 (26) を (30) と し、 (25) を (29) と し

(2を(2とし、(2を(2とし、(2の次に次のように加える。4)を(3)とし、(3)を(3)とし、(4)の次に次のように加える。

(27) 塩化ベンゼンスルホニル

別表第一第三号イ(2)の次に次のように加える。

(23)工 トキ シ 化 ポ リエ チレ ンイミン溶液 (濃度が九 八十重量。 パ ] セ ント 以下の ものに限る。

(24) 塩化カリウム溶液

(25)塩化 カリウ ム、 硝酸、 カルシウム及び硝酸マグネシウムの混合溶液

別 表第 の二中第十号を第十五号とし、 第九号を第十四号とし、 第八号を第十三号とし、 第七号を第十一

号とし、同号の次に次の一号を加える。

十二 レシチン

別 表第 の二中第六号を第十号とし、 第五号を第八号とし、 同号の次に次の一号を加える。

九 マルチトール溶液

別表第一 の二中第四号を第七号とし、 第三号を第五号とし、 同号の次に次の一号を加える。

六 ソルビトール溶液

別 表第 の 二 第二号を同 表第三号とし、 同号の次に次の一 号を加える。

四 植物性たんぱく質溶液(加水分解したものに限る。)

別表第一の二第一号の次に次の一号を加える。

一 還元でん粉加水分解物

附則

(施行期日)

1 この政令は、平成二十一年一月一日から施行する。

(罰則に関する経過措置)

2

この 政令の 施 行前にした行為に対する罰則の 適用については、 なお従前 の例による。

玉

の変更に伴い、 海洋環境 の保全の見地から有害である物質等としてアセトクロー ル等を加える等の必要が あ

際海事機関における危険化学薬品のばら積み運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則の内容

るからである。